



❖クラブ活動報告

ジャパンカレント
Eクラブ

プロバスケットボールの試合に、
家族や指導者を無料で招待しました。

令和3年2月14日
始良市総合運動公園体育館

プロバスケットボールチーム「鹿児島レブナイズ」の試合に、児童生徒、その保護者及び指導者合わせて118名を招待しました。この事業は青少年育成と地域貢献の一環として行っています。子供たちに、身近でプロの活躍を観ることで、物事に対して挑戦し真摯に向き合い、困難にも立ち向かう姿勢を養い、将来それぞれの夢を実現する力をつけてもらうことを目的としています。

本事業は地区補助金事業としては初めての開催となりました。試合当日のコロナ対策はB.LEAGUEが定めるガイドラインに基づき、受付時からしっかりと対応が施されていました。

試合は接戦となり、残り数秒で鹿児島レブナイズが逆転し、100対99で劇的なホーム初勝利となりました。招待席に座った118名が声を出せない中、最後は両手を上げて立ちあがり、勝利を一緒に喜んでいる姿は感動的であり、応援ハリセンの音はチームにとって大きな後押しとなったようです。チーム関係者の方々からも、最後で逆転できたのは会場からの大きな応援があったからだ、喜びの声をいただきました。

参加者にご記入いただいたアンケートには、「シュートフォームがきれい」「習いたい」など、技術的なコメントの他に「純粋に楽しむことが出来た」などの感謝的なコメントも数多くいただきました。これらのアンケートは選手へのメッセージとして鹿児島レブナイズの社長へ送り、選手に届けていただきました。

今回初めて準備したクラブのジャンパーや「のぼり」などを使用することで統一感もあり、横断幕も含めてロータリーの事業を世間に広く知らせるアイテムとなりました。招待した小中学生のアンケート結果には「今回初めてロータリーのことを知った」という人が47%もあり、若い世代にロータリーを知っていただく良い機会にもなりました。子ども達が試合で躍動する選手に感動し、熱く応援し素直に喜ぶ姿は、私たちも見ていて嬉しく思います。参加者からは「招待いただいて有難い。また観戦したい。応援したい。」という声もいただき、会員一同が次年度も継続させたい事業であると改めて感じました。



指宿RC

性の多様性を学ぶ講座を開催しました。

令和2年11月24日
子ども食堂いぶすき
そらまめ食堂RCC

当クラブでは『「みんなで考える、性の多様性」～RAINBOW（虹色）な私のこころ、私のからだ～』をテーマに講座を開催しました。指宿市を拠点にLGBTなどの支援、交流に取り組む「レインボーポータル向日葵」のメンバー正貴さんが、トランジェンダーとして生きていく上で感じる社会の障害などを紹介しました。その中で「こうあるべきと決めつけるのではなく、違いが豊かさを生むということを知ってほしい」と呼びかけました。

当日は約40名の市民が参加し、性の多様性について一緒に考える講座となりました。参加者の多くが自分の生き方を考えさせられた等、とても良かったとの感想を寄せて頂きました。

心を生きると書いて「性」。

一人ひとりが生きる上で大切な「性」について、自分自身に振り返る貴重なお話であったと思います。

なお、今回の講座は、子ども食堂いぶすきそらまめ食堂RCCとの共催で、指宿市男女共同参画推進講座として市の協力で開催し、新聞、インターネットで広報されました。

指宿ロータリークラブ「思いやりの心」プロジェクトの一環としての事業です。

